

1

日中サービス支援型共同生活援助における 「地方公共団体が設置する協議会等への報告・評価」について

日中サービス支援型共同生活援助における評価根拠

日中サービス支援型指定共同生活援助を行う事業者は、日中サービス支援型指定共同生活援助事業所を地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図る観点から、年に1回以上、当該事業所が所在する市町村の自立支援協議会等に対し、当該事業の実施状況等を報告し、市町村協議会等から評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴かなければならないものとすると規定されています。

また、知事が必要と認める場合に設置者は新規指定申請時にあたり、市町村協議会等に対し、運営方針や活動内容を説明の上、当該協議会等による評価を受けるものとされています。

【要綱】「日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等に関する実施要綱」（県要綱）に基づき実施

評価の目的

日中サービス支援型共同生活援助の運営にあたり、地域に開かれたサービスとすることにより、サービスの質の確保を図るため。

評価の視点

利用者に応じて外部サービスも利用し、日中サービス支援型共同生活援助サービスの提供が漫然かつ画一的なものとならないよう配慮されているか。

地域住民または地域活動との交流に努めているか。

2

実施の流れ(通常)

1. 必要書類の提出

時期:5月

対象:市内日中サービス支援型共同生活援助、指定後1年ごとに提出

内容:報告・評価シートを市へ提出

2. 松戸市自立支援協議会 日中サービス支援型共同生活援助評価部会による評価実施

時期:6月

内容:事業所から提出された「報告・評価シート」等の資料や当日の質疑応答に基づき評価を行う。

評価者:松戸市自立支援協議会 日中サービス支援型共同生活援助評価部会 委員5名

3. 松戸市自立支援協議会による審議

時期:8月

内容:評価部会にて実施した評価内容に対して審議を行う。

審議者:松戸市自立支援協議会委員15名

4. 事業所への結果通知

時期:9月

内容:松戸市自立支援協議会より事業所に助言・要望等の通知を行う。

5. 千葉県総合支援協議会へ結果の報告

時期:千葉県総合支援協議会が別に定める期日(毎年12月末日)

内容:市町村協議会から県協議会へ報告書を提出

6. 県協議会による市町村協議会への助言等

時期:県協議会へ結果の報告後

内容:県協議会は市町村協議会に対し、必要に応じて助言等を行う。

7. 次回以降の指導・評価に向けた改善

時期:県協議会による市町村協議会への助言後

内容:市町村協議会は県協議会の助言等を参考に、次回以降の事業所の評価・助言等における全体的な資質向上に努める。

日中サービス支援型共同生活援助事業所と通所事業所を同一敷地内に設置しようとする場合などに、事前評価が必要となります。

1. 必要書類の提出

時期: 8月の市町村協議会で評価を行う場合、4月までに提出
2月の市町村協議会で評価を行う場合、9月までに提出
対象: 知事が事前の評価が必要と認める場合のみ提出
内容: 報告・評価シート等を協議会へ提出

2. 松戸市自立支援協議会 日中サービス支援型共同生活援助評価部会による評価実施

時期: 6月か11月、いずれかの評価部会にて評価実施
内容: 事業所から提出された「報告・評価シート」等の資料や当日の質疑応答に基づき評価を行う。
評価者: 松戸市自立支援協議会 日中サービス支援型共同生活援助評価部会 委員5名

3. 松戸市自立支援協議会による審議

時期: 8月か2月、いずれかの協議会にて審議
内容: 評価部会にて実施した評価内容に対して審議を行う。
審議者: 松戸市自立支援協議会委員15名

4. 事業所への結果通知

時期: 松戸市自立支援協議会開催後
内容: 松戸市自立支援協議会より事業所に設置の可否や助言・要望等の通知を行う。

5. 県への結果報告

時期: 事業所への結果通知後
内容: 事業所は市町村協議会での結果通知を添付し、県に報告する。設置を認めた場合、新規指定を受ける。

(1) 評価部会当日の流れについて

1. 実施の趣旨説明

評価部会の開催意義について(15分程度)

2. 評価シートの説明、質疑応答(1事業所あたり15分～30分)

(1) 既存事業所

- ① 事業所による報告(5分程度)
- ② 評価事項の質疑応答(10分程度)

(2) 新規事業所(評価実施年度の前年度に開設した事業所)

- ① 事業所による報告(10分程度)
- ② 動画による施設の内覧(5分程度)
- ③ 評価事項の質疑応答(15分程度)

3. 評価

各委員による評価シートの記載 ※評価部会開催後、1週間程度で評価を提出

(2) 評価部会について

松戸市自立支援協議会の部会として日中サービス支援型共同生活援助評価部会を設置
⇒委員15名中5名が所属

日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告・
協議会等からの評価等に関する実施要綱

(目的)

第1条 日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例」(平成24年12月21日条例第88号)に定めるほか、県内の市町村(政令指定都市及び中核市、我孫子市を除く。以下、この要綱において同じ。)において、日中サービス支援型グループホームの設置者(以下、「設置者」という。)が事業を実施する場合は、この要綱に定めるところにより行うものとする。

(市町村協議会等への定期報告)

- 第2条 設置者は年に1回以上、当該事業所が所在する市町村の自立支援協議会等(法第89条の3第1項に規定する協議会又はその他の都道府県知事がこれに準ずるものとして特に認めるもの(以下、「市町村協議会等」という。))に対し、当該事業の実施状況等を報告し、市町村協議会等から評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴かなければならないものとする。
- 2 設置者は、市町村協議会等が別に定める期日までに、「日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告書(事業所用)」(別記第1号様式)及び「評価・報告シート」(別記第2号様式)に必要な事項を記入し、当該市町村協議会等へ提出しなければならない。
- なお、新規指定後の提出は1年以内とし、以後の提出は1年毎とする。
- 3 設置者は、必要に応じて市町村協議会等へ当該事業の実施状況等について説明を行うものとする。
- 4 設置者は市町村協議会等における評価及び助言、要望等を尊重し、当該事業における質の向上するように努めるものとする。

(市町村協議会等からの評価)

- 第3条 市町村協議会等は設置者から上記第2条第2項に基づき関係書類が提出された際は、速やかに内容を審査の上、当該設置者の評価を行うものとする。
- 2 市町村協議会等は、必要に応じて設置者に対し、追加の説明又は報告等を求めることができるものとする。

(県協議会への定期報告)

- 第4条 市町村協議会等は年に1回以上、千葉県総合支援協議会(以下、県協議会)が別に定める期日までに当該市町村協議会等において実施した評価等の結果を取りまとめの上、「日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告書(市町村用)」(別記第3号様式)を提出するものとする。
- 2 県協議会は、前項による報告を受け、必要に応じて市町村協議会等に助言等を行うことができるものとする。
- 3 市町村協議会等は、県協議会における助言等を尊重し、次回以降の設置者に対する助言、評

価等の質が向上するように努めるものとする。

(新規指定申請時の対応)

第5条 知事が必要と認める場合に設置者は事業の新規指定申請にあたり、市町村協議会等に対し、運営方針や活動内容等を説明の上、当該協議会等による評価を受けるものとし、その内容を「市町村協議会等における評価結果等の報告書」(別添第4号様式)及び「市町村協議会等による評価結果報告シート」(別添第5号様式)を用いて知事に報告するものとする。

(記録の保管等)

- 第6条 上記第2条及び第3条で規定する市町村協議会等における評価を受けた設置者は、その報告内容及びそれに対する評価、助言及び要望等についての記録を整備し、5年間保存しなければならない。
- 2 設置者は、個人情報の保護に留意しつつ、前項で規定する記録及び事業の運営状況を積極的に公表するものとする。

(その他)

第7条 この要綱に定めるものを除くほか日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

報告・評価シート

【報告日】 令和8年 5月 13日
【評価日】 令和8年 5月 29日

法人名		社会福祉法人松里福祉会				【評価日】		令和8年 5月 29日	
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	あおば			人員配置	日中		
		指定日	令和2年	4月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	松戸市金ヶ作422-2				34人	16人	
		定員数（共同生活援助）	39人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		定員数（短期入所）	4人				12.18人	12.39人	
		共同生活住居数	5戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】		世話人		生活支援員		
		あおば五香	8名		（兼務）10人		（兼務）16人		
		あおば八柱	6名		（常勤換算後）		（常勤換算後）		
		あおば金ヶ作	5名		3.35人		3.31人		
		あおば六実A棟	10名						
		あおば六実B棟	10名						
2	利用者状況 （令和8年4月1日現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）					身体	総 数：	5人
		区分2						主に日中GHで過ごす人数：	0人
		区分3	2人				知的	総 数：	37人
		区分4	1人					主に日中GHで過ごす人数：	0人
		区分5	8人				精神	総 数：	0人
		区分6	26人					主に日中GHで過ごす人数：	0人
		合計	37人				難病等	総 数：	0人
		年齢	人数			主に日中GHで過ごす人数：		0人	
		20代以下	1人			内訳②	障害特性		人数
		30代	4人				医療的ケアが必要な者	0人	
		40代	12人				強度行動障害がある者	2人	
		50代	18人			内訳③	区分4以下かつ40代以下で、医療的ケアや強度行動障害等がない者		0人
		60代以上	2人						

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議の開催状況について（新規事業所の場合は令和8年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	令和7年	11月	27日		
		参加委員数	9人				
		開催方法	対面				
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	別紙①参照				
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					
		別紙①参照					
		地域連携推進会議における要望・助言等について					
		（会議において推進員等からの要望や助言を記載）					
		別紙①参照					
		地域連携推進員の訪問について					
		（施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載） あおば五香：令和7年10月29日 あおば八柱：令和7年10月24日 あおば金ケ作：令和7年10月31日 あおば六実A・B棟：令和7年10月30日 各住居担当の地域の関係者にGHを訪問してもらい、利用者の様子や支援状況等を確認してもらった。					
議事録の公表方法について							
法人ホームページ上							

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】（別紙でも可） 別紙②参照	
		【運営方針】（別紙でも可） 別紙②参照	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	室内・室外を問わず、幅広い活動の実施をお願いいたします。
		買い物、ドライブ、ウォーキング、軽運動等	
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	
		「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 37人	
		（外部の日中活動サービス種類及び人数） 生活介護 31名 就労継続B型 6名	
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。	

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	利用者の希望に寄り添った支援をお願いいたします。	
		移動支援を活用しての外出やGHにおいても可能な範囲で散歩やドライブ、買い物等の外出機会の確保をしている。 各住居ごとに季節のイベント、調理活動、食事のお楽しみメニュー等を実施。		
		体験的利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数） 令和7年度は9人を受入れ。		
		（体験利用の事例） 家庭から離れた環境での生活を体験してもらう為、4泊5日程度の日程で実施。その後も4泊5日程度の体験を複数回おこない、本人の様子や家族との話し合いのもと本入居に至った。		
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について		
		事業所名		
		サービス種別		
		利用定員		・通所事業所での日中活動の具体的な内容
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況		
		【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度		
		・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み		

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 各住居で定期的に家族会を開催し、運営状況の説明や要望等、意見交換の場を設けている。各住居で町会に加入、輪番でゴミ当番をおこなったりしている。地域連携推進会議をきっかけに委員の方が訪問してくれることもある。	他施設の実習生に対し、見学等にて理解を深められている点は良いと思います。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数	
		実習生： 人 ボランティア： 人	
9	短期入所の併設について	（受け入れの事例） GHでの実習生の受け入れはおこなっていないが、法人内の日中活動施設の実習生に対し、GHの見学・説明をおこない理解を深めている。	緊急時の受け入れについて評価いたします。 保護者の高齢化等に伴い、当該事例のような緊急レスパイト的な短期入所のニーズは増すと推測されますので、今後も迅速な受け入れをお願いいたします。
		・前年度の受け入れ人数： 32人 うち市の事業による受け入れ人数： 8人 ・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 受け入れ人数：2名 父子世帯。父親の病状悪化により父子分離が望ましいとの判断により即日受け入れ。	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 各住居とも利用状況に応じて支援体制を整えている。支援状況によっては夜間支援者を2名体制にしている。	
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	（具体的な連携状況の事例） 障害支援区分6・身体障害1種2級 心不全により令和7年度に2度緊急入院。退院後は通所事業所、入院先の病院、訪問診療、訪問看護、訪問薬局と連携しながら病状管理をしている。	医療関係者や相談支援専門員等と連携でき、医療連携が成功している良い事例であると思います。こちらをモデルケースとしてマニュアル化の推進をお願いします。 特に、重度障害や医療依存度が高い利用者に対する「緊急時アセスメント」の標準化と、緊急時の状況を地域連携推進会議等において共有可能な形で記録し、可視化する仕組みについての構築をお願いします。 今後、利用者の高齢化に伴い、精神科に加え、内科などの身体科のニーズが高まることが予想されますので、定期的な医療機関との相談や問診等の活用についてご検討ください。

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について （必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 知的障害者施設に20年以上勤務。その間、生活支援員・主任・施設長補佐・サービス管理責任者を経験。 社会福祉士・サービス管理責任者・強度行動障害支援者実践研修・認定調査員等。	配置されている専門職の方のスキルを事業所内だけでなく、地域の相談支援事業所や重度の方の受け入れの経験が少ない小規模事業所に対する「技術指導」や「スーパービジョン」へと拡大し、地域へ還元していただくようお願いいたします。 強度行動障害支援者研修の修了者が多数配置されているという強みを活かし、地域における「強度行動障害児者への短期入所や緊急時受け入れ」の枠組みについて、積極的な構築をお願いします。 緊急時の受け入れ実績を活かし、地域全体のセーフティネットとしての立場をより強化していただくことを期待しております。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 2名配置。（管理者兼務） 知的障害者施設にて10年以上勤務。あおば主任。 サービス管理責任者・強度行動障害支援者実践研修・知的障害援助専門員・介護初任者研修等。	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 常勤職員18名のうち14名は強度行動障害支援者養成基礎研修を修了。そのうち6名は実践研修を修了。 国家資格保有者は社会福祉士4名、精神保健福祉士1名、介護福祉士2名。	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 法人内で年間研修計画に基づいて研修を実施（別紙③参照）。事業所内では各月で職員会議やケース会議（事例検討等）を実施。 外部研修においてはその都度案内に従い該当する者に受講を促している。	
		・資格取得への取り組みはあるか。 講習を受講することで取得できる資格は、適任と思われる者に積極的に受講を促している。 国家資格取得にあたり、勤務シフトの配慮や資格取得後は資格手当、処遇改善加算等で給与に反映している。	

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 (受け入れにおける具体的な判断基準について) 体験利用でGHの暮らしを経験し、本人が家庭を離れた生活に順応し入居を希望、かつ同居者との相性、現状の支援力、環境面などを照らし合わせた上で受入している。その際相談支援事業所や家族、関係機関等とも最終的な調整会議をおこなない判断している。 ・利用希望があった時に受け入れを断った例について (相談を受けてお断りした例やその後の対応について) 令和7年度該当なし。	
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて ※業務継続計画(災害・感染症)等を添付すること	(避難訓練の実施状況、水や食糧の備蓄等について) 各住居年2回の消防・避難訓練を実施。 食料品の備蓄は各住居ごとに概ね1週間分を備蓄している。その他不足が生じた際は法人内の通所事業所より物品や人員の協力が得られるよう備えている。 (別紙④参照)	
16	協議会からの要望、助言への対応(2回目以降記入)	・移動支援利用者数 8名・利用事業所 7事業所 ・社会福祉士のソーシャルワークにおいては、職場内のOJTや医療、行政手続きのサポートをはじめとした地域生活支援全般、多職種連携等を実践し職場内にフィードバックしている。また日中活動施設での相談援助実習をはじめとした各種学生に対し制度理解やGH視点での支援、地域生活支援や多職種をはじめとした連携の重要性等を伝えるなど、後任育成や理解者の拡充も意識しながらおこなっている。 ・住宅環境については、住居によりバリアフリー対応となっていない住居もあり法人として今後の検討課題でもある。	検討課題とされている「一部住居のバリアフリー対応」について、早急な対策が必要であると思われます。 長期的な視点に立った具体的な改修ロードマップ(予算・工期含む)の作成をお願いいたします。 利用者の高齢化に伴う身体機能低下を考慮し、全居室でのユニバーサルデザイン化を優先的に進めていただくよう要望いたします。
17	その他	・グループホームにおける食事提供方法・金額等について 食材配達業者を利用。米・味噌汁は事業所にて調理、おかず類は温め盛り付けをして提供。その他個別、介護食対応あり。 朝321円・昼456円・夜456円 ・施設のバリアフリー等、独自の工夫点について あおば八柱・金ヶ作は1階平屋作り。 あおば八柱・六実はリフト浴設置。	

報告・評価シート

【報告日】 令和8年 5 月 13 日

【評価日】 令和8年 5 月 29 日

法人名		株式会社INNOVEL HEALTHCARE			【評価日】		令和8年 5 月 29 日		
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	グループホームイノベル松戸			人員配置	日中		
		指定日	令和7年	3月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	グループホームイノベル松戸				7.人	11.人	
		定員数（共同生活援助）	20人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		定員数（短期入所）	0人				3.9人	6.00人	
		共同生活住居数	2戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】		世話人		生活支援員		
		グループホームイノベル松戸A棟	10名		2.00人		11.00人		
		グループホームイノベル松戸B棟	10名		（常勤換算後）		（常勤換算後）		
		【住居名を記載】	名		0.20人		1.90人		
2	利用者状況 （令和8年4月1日現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）					身体	総 数：	3人
		区分2						主に日中GHで過ごす人数：	0人
		区分3					知的	総 数：	10人
		区分4	4名					主に日中GHで過ごす人数：	0人
		区分5	4名				精神	総 数：	6人
		区分6	11名					主に日中GHで過ごす人数：	0人
		合計	19人				難病等	総 数：	3人
		年齢	人数			主に日中GHで過ごす人数：		0人	
		20代以下	3人			内訳②	障害特性		人数
		30代	2人				医療的ケアが必要な者	0人	
		40代	2人				強度行動障害がある者	9人	
		50代	12人			内訳③	区分4以下かつ40代以下で、医療的ケアや強度行動障害等がない者		0人
		60代以上							

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議の開催状況について（新規事業所の場合は令和8年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	令和7年	10月	20日	相談支援専門員や学校関係者など、幅広い立場の方の招集ができるのとより良くなると思われます。 ご家族の参加をはじめ、地域連携推進会議を経て地域のネットワークを広げる場にしていただければと思います。 説明から外国人の支援者ともコミュニケーションが取れていることがわかり、評価いたします。 外国人職員の定着は地域の課題でもあるため、単なる業務習得に留まらず、日本における障害福祉の理念や権利擁護、ケアの質的側面を学べるよう社内研修体制を充実させ、安定した支援体制の構築に努めてください。 市全体での議論につなげるため、自施設のみでは対応困難な課題や要望も抽出していただくようお願いいたします。	
		参加委員数	19人				
		開催方法	対面・オンライン・その他				
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	福祉知見者・地域関係者・ご家族様				
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					
		自己紹介 施設の紹介と説明 ご家族様の意見交換					
		地域連携推進会議における要望・助言等について					
		（会議において推進員等からの要望や助言を記載）職員の質の話があったが、職員の確保もどこの業界でも難し。外国人の就労も増えている。外出など施設内だけで完結しようとする					
		と質の確保の難しさにもつながってしまう為、移動支援、他のサービスを利用しご本人様のネットワークを広げていく事が必要。それが地域交流や地域啓発にもつながる。					
		地域連携推進員の訪問について					
		（施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）毎年1回実施ご案内送付にて訪問依頼を行っています。					
		議事録の公表方法について					
		施設内の自由に閲覧できる場所に掲示しています。					

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】 株式会社INNOVEL HEALTHCAREが設定するGHイノベル松戸において実施する指定障害福祉サービスの共同生活援助事業の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理を図ると共に利用者の立場に沿った適切な共同生活援助の提供を確保することを目的とする。 【運営方針】 株式会社INNOVEL HEALTHCAREが設置するグループホームイノベル松戸において実地する指定障害福祉サービスの共同生活援助の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、共同生活援助の円滑な運営管理を図る共に、利用者の意思及び人格を尊重し、地域での重要な役割を担う社会資源となる為、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する事を目的とする。	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 利用者様それぞれの特性に沿い、日中活動を行っています。グループで季節の創作活動を主に行い個別に機能訓練、リハビリを定期的に行っております。強度行動障害のある利用者様には個別に構造化されたプログラムに沿った活動をマンツーマン支援にて、実施しています。 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 16 人 (外部の日中活動サービス種類及び人数) 就労B 2人 生活介護 14人 外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 外部の日中サービスを利用したいが、受け入れ先がない方、日中もホームで過ごされたいと希望される方もいます。 事例 7:00 起床、整容 7:30 朝食、口腔ケア 9:00 居室の清掃 10:30 散策時間、散歩 12:00 昼食 13:00 創作活動(ピース通しや色分け、塗り絵) 15:00 おやつ 16:00 入浴 洗濯 17:00 散策時間 18:00 夕食、口腔ケア 19:00 自由時間 22:00 就寝	個別性に応じた対応があり、良いと思います。 説明の中で、脱衣をされる方について外部の日中活動サービスの受け入れが難しいとありましたが、オーバーオール等を後ろ留めにする、ご本人が脱がないよう背中側にひもを付けるなどの工夫をしていただき、利用者の日中活動について保障していただければと思います。特性によって社会的にさらされる状況にならないよう、適切な支援をお願いいたします。

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価										
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 外出支援は、近隣のスーパーに買い物支援、地域交流を深めるためお散歩支援に挨拶運動を行っています。 体験の利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) 令和7年度：3件 令和8年度：現在0件 (体験利用の事例) 隣接している単独短期を利用しながらグループホームを探していて、隣にある弊施設を希望された。すでに同法人の施設をご利用されていたのでスムーズに体験入居ができ、お気に召していただいたことから入居の希望があり、入居となった。	利用者から要望があった際には可能な限り取り入れていただくをお願いします。										
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について <table border="1"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> ・通所事業所での日中活動の具体的な内容 ・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 <table border="1"> <tr> <td>【GHからの利用人数】</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>【通所の頻度】 1週間に</td> <td>日程度</td> </tr> </table> ・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	事業所名		サービス種別		利用定員		【GHからの利用人数】	人	【通所の頻度】 1週間に	日程度	
事業所名													
サービス種別													
利用定員													
【GHからの利用人数】	人												
【通所の頻度】 1週間に	日程度												

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 6月14日にボランティアさん主催のベリーダンスの方をお呼びしてご家族様にもお声がけを行い交流の場を持ちたいと考えております。	ボランティア活動等の交流に対して前向きな姿勢であり、評価いたします。 ベリーダンスや音楽イベント等の単発的な交流をきっかけとして、町会活動への参加や、地域住民を招いた「ホームの公開勉強会」など、顔の見える関係性を日常的に構築することが理想的です。 ボランティアだけではなく、海外からの技能実習生の受け入れをしており良いと思います。 今後も継続した受け入れをお願いします。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数	
		実習生： 2 人 ボランティア： 8 人 ボランティア（ベリーダンス）ベリーグットさん（歌） 楽夢音隊さん 海外からの技能実習生 2名。現在ほぼ現場業務を習得・定着しており、今後も受け入れを実施したいと考えている。	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数： 人 うち市の事業による受け入れ人数： 人	
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 隣接した建物に単独短期入所施設（同法人）があるため、併設短期は設置していない。	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 平日利用者19名、20名に対してユニット3～4名 土日祝日利用者19名、20名に対して1ユニット3名～4名 夜間支援1階（A棟）1名夜間支援2階（B棟）1名～2名配置にて支援体制を確保しています。	
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	（具体的な連携状況の事例）相談支援事業者とは利用者様の状況の変化やご様子など情報共有を行い連携を行っています。必要時または定期的な担当者会議の依頼もしています。通所先や他のサービス事業所とは送り出しや迎え入れの際などで情報共有を行ったり、連絡帳のやり取りなどで毎日の連携を行っています。問題や何か気になった点などの相談が出来るような関係性が構築されています。	

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について （必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）	・支援スキルの高い管理者を置いているか。	研修の受講等、強度行動障害への支援実績について評価いたします。
		強度行動障害（基礎）（実践）初任者研修 実務者研修 介護福祉士	
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。	
		強度行動障害（基礎）（実践）初任者研修 実務者研修 介護福祉士	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・支援スキルの高い従業者を置いているか。	研修の受講等、強度行動障害への支援実績について評価いたします。
		強度行動障害（基礎）（実践）3名 初任者研修 5名 実務者研修 6名 介護福祉士 3名	
		・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	事務所に提示してあります。	精神保健福祉士等の国家資格への取得支援について、研修シフトへの配慮や具体的な資格手当の提示など、より明確な制度になるよう整備をお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 資格手当、給料の等級制度などの金銭的なサポートや実務経験を積んだ職員へのサービス管理所得など管理職を目指す様な育成体制を整えている。	

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 (受け入れにおける具体的な判断基準について) 基本的に重度支援区分が高い利用者を主体で受け入れを行っています。医療依存が高く医療従事者の対応が必要なケースや精神疾患にて慎重な対応が必要ケースなど ・利用希望があった時に受け入れを断った例について (相談を受けてお断りした例やその後の対応について) 利用相談にて断った事例はありません。通所の兼ね合いにより、決まらなかった、ご家族との利用の折り合いがつかなかったとの事例はあります。	
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて ※業務継続計画(災害・感染症)等を添付すること	(避難訓練の実施状況、水や食糧の備蓄等について) 施設内の業務継続計画を設定し、避難訓練は、年2回の実施をしております。備蓄に関しては、常時3日分の備蓄を備えています。	近年の災害リスクを考慮し、3日分の備蓄を最低でも1週間分にさせていただきようお願いいたします。 また、食料・資材等の調達について実効性を高めるため、法人内の短期入所施設との連携をBCPに明記することを要望いたします。
16	協議会からの要望、助言への対応(2回目以降記入)	相談支援事業者とは利用者様の状況の変化やご様子など情報共有を行い連携を行っています。必要時または定期的な担当者会議の依頼もしています。 通所先や他のサービス事業所とは送り出しや迎えの際などで情報共有を行ったり、連絡帳のやり取りなどで毎日の連携を行っています。問題や何か気になった点などの相談ができるよう関係性の構築がされています。	
17	その他	・グループホームにおける食事提供方法・金額等について タイハイ株式会社より発注、提供・金額は、朝220円 昼340円 夜 340円 ・施設のバリアフリー等、独自の工夫点について ホーム入り口に車椅子用のスロープ 2階エレベーター設置	体重が1か月で10キロ減った方の事例について、食事の量を倍増することで対応しているとの説明がありましたが、その方法が適切か疑問に感じました。 医療的な側面や本人の特性など、体重が減った理由をアセスメントを行ったうえで明確にし、対策を練るべきであると考えます。

報告・評価シート

【報告日】 令和 8年 5月 12日

【評価日】 令和 8年 5月 29日

法人名		株式会社 リード							
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	バンビのおうち・いずみ			人員配置	日中		
		指定日	2024年	1月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	千葉県松戸市古ヶ崎160				6.人	8.人	
		定員数（共同生活援助）	10人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		定員数（短期入所）	1人				3.6人	3.3人	
		共同生活住居数	1戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人	生活支援員	
		【住居名を記載】	名				4人	人	
		【住居名を記載】	名				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		【住居名を記載】	名				0.7人	人	
2	利用者状況 （令和8年4月1日現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）					身体	総 数：	2人
		区分2						主に日中GHで過ごす人数：	1人
		区分3	2人				知的	総 数：	2人
		区分4	6人					主に日中GHで過ごす人数：	0人
		区分5	1人				精神	総 数：	6人
		区分6	1人					主に日中GHで過ごす人数：	0人
		合計	10人				難病等	総 数：	0人
		年齢	人数			主に日中GHで過ごす人数：		0人	
		20代以下	1人			内訳②	障害特性	人数	
		30代	1人				医療的ケアが必要な者	0人	
		40代	1人				強度行動障害がある者	0人	
		50代	5人			内訳③	区分4以下かつ40代以下で、医療的ケアや強度行動障害等がない者		
		60代以上	2人				2人		

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議 の開催状況について（新規事業所の場合は令和8年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	年	月	日	調整が難しい部分はあると思いますが、様々な分野の方との連携をお願いします。 地域連携推進会議は令和7年度より開催が義務付けられておりますので、必ず実施してください。 また、未実施であることについて公表してください。 要望や助言、課題を抽出することで改善につながり、より良い会議につながると考えます。 実現できるよう具体的な調整をお願いします。
		参加委員数	5人			
		開催方法	対面・オンライン・その他			
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	サービス管理責任者 利用者・利用者家族 民生委員			
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について				
		予定 ・障害について ・施設と地域の連携について ・日常生活の様子について ・支援者の様子について				
		（会議において推進員等からの要望や助言を記載）				
		地域連携推進員の訪問について （施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）				
議事録の公表方法について						

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【運営方針】（別紙でも可） 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営規定 第1条をご参照ください。 【運営方針】（別紙でも可） 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営方針 第2条をご参照ください。	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 生活に沿った支援を重視しています。 ・掃除や洗濯等の日常生活の支援 ・食事や入浴、排泄等のADLの支援 ・検温や体重測定を含め訪問看護（月2回）連携し健康管理支援 ・受診同行等の支援 入院時の同行送迎支援 ・買い物や地域イベント参加等日常生活に必要な同行支援 ・本人・保護者からの要望がある場合は金銭管理支援 利用者に合わせ、出来ない部分を支援し一緒に行っています。 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 9 人 生活介護 3人 地域活動支援センター 1人 就労支援B型 4人 外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 ・自分に合う活動場所を検討中、相談員やご家族・病院等と相談し見学や体験をしています。活動場所側の受入れ待ちの利用者も含まれます。 ・買物同行 居室や居間でネットを使用して調べもの・ノートにまとめる・職員と歓談・散歩・塗り絵・受診同行・ゲーム・掃除	重度の方の受け入れをされておりありがたく思います。 利用者の意向も確認しながら支援していただければと存じます。

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																		
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 外出支援は、近隣の店舗へ買い物支援や地域交流を深めるために散歩支援等時には挨拶等も積極的に行っています。 体験的利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数） （体験利用の事例） ・グループホームが初めての利用者様にホームでの暮らしを体験できるようにしています。 ・体験から本入居への移行だけでなく今後の入居を視野に、どのような生活を送るのか経験として利用しています。																			
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">・通所事業所の概要について</td> </tr> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">・通所事業所での日中活動の具体的な内容</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況</td> </tr> <tr> <td>【GHからの利用人数】</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>【通所の頻度】 1週間に</td> <td>日程度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み</td> </tr> </table>	・通所事業所の概要について		事業所名		サービス種別		利用定員		・通所事業所での日中活動の具体的な内容		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況		【GHからの利用人数】	人	【通所の頻度】 1週間に	日程度	・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み		
・通所事業所の概要について																					
事業所名																					
サービス種別																					
利用定員																					
・通所事業所での日中活動の具体的な内容																					
・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況																					
【GHからの利用人数】	人																				
【通所の頻度】 1週間に	日程度																				
・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み																					

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご家族は常に来訪可能で、入居者の部屋への出入りは自由にしています。また、散歩や買い物等同行の際に、近隣の方と交流を図れるように挨拶や会話をしています。 地域イベント参加	社会福祉協議会や県内の福祉専門学校等との連携についてご検討ください。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数 実 習 生： 人 ボランティア： 人	
		(受け入れの事例)	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数： 6人 うち市の事業による受け入れ人数： 0 人	
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	
		平日（日中）：利用者3名/10名に対して3名 （夜間）：利用者9名/10名に対して1名～2名 土日（日中）：利用者7名/10名に対して2名 （夜間）：利用者7名/10名に対して1名	
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	(具体的な連携状況の事例を記入) ・入居者本人はもちろんその家族についても相談支援事業者と情報を共有し、新たなニーズや課題についてどのようにしたらより良いのか共に模索している。 ・怪我や体調の変化があった際には、必ず関係する事業所等へ情報共有し、どのように支援していくかなど連携している。	体調不良時等の緊急連携体制は構築されていますが、日頃から「小さな変化（サイン）」を相談支援事業所と常に共有することで、先制的な支援が行えるよう体制の強化をご検討ください。

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について (必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 就労継続支援A型 生活支援員/職業指導員 7年 介護職員実務者研修 サービス管理責任者基礎研修受講	精神障害のある利用者が半数以上いることから、単なる日常生活支援のみならず、利用者の「リカバリー（回復・主体的な地域生活）」を促進するような個別支援計画の策定を検討してください。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ・就労継続B型・就労移行 支援員 6年 ・サービス管理責任者 7年 ・初任者研修 ・社会福祉主任任用資格	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 ・社会福祉士（夜勤勤務者の為、利用者の困っていること等を誰に相談すれば良いか等、職員会議等で助言・相談している） ・介護職員初任者研修 ・介護職員実務者研修 ・介護福祉士 ・強度行動障害者支援者養成研修（基礎・実践）	
		・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 年間研修計画に沿って実施予定 外部研修については、その都度案内に従い該当する職員に受講を促している。	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・資格取得への取り組みはあるか。 講習を受講することで取得できるものは、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後、資格手当として給与に反映するようにしている。	国家資格取得のための支援体制は整備されておりますが、強度行動障害や精神障害者支援に関する専門研修について、年間計画をお示しください。特に、多様な障害特性に応じた研修等の取り組みを職員に示し、専門性の向上を図るようお願いいたします。

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。	
		体験利用で経験した上で本人が家庭を離れた生活に順応し、入居を希望した場合受け入れ可能としている。相談支援事業所・関係機関等と最終的な調整会議を行い判断している。	
		・利用希望があった時に受け入れを断った例について	
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて ※業務継続計画（災害・感染症）等を添付すること	（避難訓練の実施状況、水や食糧の備蓄等について） 「非常災害対策計画」別紙参照	
16	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	項目5質問について 入居者の半数以上が精神障害（統合失調症）となるため、日常的な身体的支援は少ない。 項目12質問について 管理者 サービス管理責任者基礎研修終了 サービス管理責任者 実務者研修予定 項目17質問について 玄関の段差ですが、構造上スロープを設置することが困難なため利用者が昇降する際には、職員が支援や見守りを行っています。 エレベーターや階段昇降機を設置する事が困難なため、ADLが低下した場合は関係各所と連携を取り転居支援を行っています。見学時に説明しています。	
17	その他	・グループホームにおける食事提供方法・金額等について 調理済み冷凍食材を活用 月額40000円	玄関やエレベーターの設置等、構造上バリアフリー化が困難な現状を重く受け止めていただき、ADLが低下した場合の「転居支援」だけでなく、ホームに住める期間を延ばすための福祉用具（可搬型スロープや昇降補助具等）の導入や動線改善についての検討状況を具体化にお示しください。
		・施設のバリアフリー等、独自の工夫点について	
		・トイレ等は分かりやすくピクトグラムを掲示 ・極力段差の解消によるバリアフリー化 ・1階洗面台は車椅子の方でも使いやすくなっている。 ・浴室に転倒防止用に手すりを多く設置している。	

【報告日】 令和8年 5月 13日

【評価日】 令和8年 5月 29日

法人名		株式会社チャレンジプラットフォーム					【評価日】		令和8年		5月	29日
項目		【事業所記入欄】										
1	施設概要	事業所名	サニースポット松戸上本郷					人員配置	日中			
		指定日	2024年	10月	1日		世話人		生活支援員			
		所在地	松戸市松戸新田505-1						10人	8人		
		定員数（共同生活援助）	20人						（常勤換算後）	（常勤換算後）		
		定員数（短期入所）	1人						3.55人	6.27人		
		共同生活住居数	1戸						夜間			
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】			世話人	生活支援員					
		【ユニット1女性棟】	10名			7人	4人					
		【ユニット2男性棟】	10名			（常勤換算後）	（常勤換算後）					
		【短期入所】	1名			1.55人	0.95人					
2	利用者状況 （令和8年4月1日現在）	障害支援区分	人数					内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）			
		区分1（非該当含）	0人						身体	総 数：	6人	
		区分2	0人							主に日中GHで過ごす人数：	1人	
		区分3	0人						知的	総 数：	14人	
		区分4	4人							主に日中GHで過ごす人数：	2人	
		区分5	5人						精神	総 数：	0人	
		区分6	11人							主に日中GHで過ごす人数：	0人	
		合計	20人						難病等	総 数：	0人	
		年齢	人数					主に日中GHで過ごす人数：		0人		
		20代以下	9人					内訳②	障害特性		人数	
		30代	5人						医療的ケアが必要な者	0人		
		40代	0人						強度行動障害がある者	1人		
		50代	5人					内訳③	区分4以下かつ40代以下で、医療的ケアや強度行動障害等がない者			
		60代以上	1人						0人			

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
3	地域連携推進会議の開催状況について（新規事業所の場合は令和8年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	2025年	9月	16日	訪問看護ステーションや町内会など、幅広い分野の方が参加されている点について評価いたします。		
		参加委員数	7人					
		開催方法	対面・オンライン・その他					
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	利用者1名・入居者のご家族1名 地域の関係者（町内会でマッサージを運営されている方）1名・経営に知見のある方（訪問看護ステーション経営者）・GH支援ワーカー小林様・管理者高橋/サビ官大根					
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について						
		【議題】BCP・各種委員会実施について/サービスの質向上のための取り組み/利用者の権利擁護について 【報告】地域連携推進会議の説明・参加者自己紹介・事業所/施設紹介/利用者の日常・余暇支援について						
		地域連携推進会議における要望・助言等について				課題として挙げられている「外国人職員の受入れ」と「意思疎通・専門的ケアの難しさ」について、語学支援に加え、日本における障害福祉の倫理や行動援護の視点を学べるような研修プログラムについてご検討ください。 市全体での議論につなげるため、自施設のみでは対応困難な課題や要望も抽出していただくようお願いいたします。		
		（会議において推進員等からの要望や助言を記載） 特定技能生の受入れを議題に、参加者からご意見を頂く。日本語が書けないので通所ノートの連携が取れない事や障害者への接し方が介護とは違い難しいのでは、とご意見を頂く。						
		地域連携推進員の訪問について （施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載） サニースポット松戸上本郷ユニット1（女性棟）にて実施。 交通機関利用3名、社用車1名来訪。施設が最寄り駅から徒歩5分のため交通機関の方が便利と意見を頂く。						
		議事録の公表方法について						
ワムネット公開								

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】（別紙でも可） 別紙参照 【運営方針】（別紙でも可） 別紙参照	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 10時30分以降（通所先へ送り出しがある為）日中GHで過ごす入居者と共に掃除。 13時～15時：余暇（外出・紙漉き・体操など） 15時～16時：帰宅した入居者と共におやつタイム 16時～20時：順次入浴 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 17 人 （外部の日中活動サービス種類及び人数） ・生活介護：12名 ・就労継続支援B型：1名 ・就労B（週2回）：2名 ・特別支援学校：1名 ・入院中：1名 外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 【30代女性入居者】 行動停止が多く、時間通りに動く事が出来ない為通所出来ず。CAS田熊様や精神科医に相談しながら、支援を考え現在は朝8時には起床出来るようになった。移動支援や保護者と午後から外出する事が多い。GH内では職員と共に庭掃除をしたり、余暇活動を行っている。 【他入居者2名】 男性入居者・・・体調を崩してから五ヶ月間生活介護をお休みしていたが6月より再通所。 女性入居者・・・圧迫骨折で三ヶ月安静に過ごしていたが6月より新しい就Bに通所予定。	清掃に力を入れており、良いと思います。 専門家であるCASに指導を受けている点について評価いたします。

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価										
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 週1回、買い物支援/週2回、公園に散歩（季節の花を見る） 同建物のライブラリ松戸上本郷（介護施設）へ練切りのレッスンに参加させて頂いたり、余暇支援は新しい事も取り組むように心がけている。現在は保護者にお手紙を書くため、紙漉きの準備実施中。イベントとして入居者と料理も行っている。 体験的利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数） 体験利用数：4名 待機者は定期的に短期入所を利用して頂いている。 （体験利用の事例） 体験利用2泊3日は無料で提供。 満床になってからは、短期入所を利用して頂いている。	利用者から要望があった際には可能な限り取り入れていただくをお願いします。										
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について <table border="1"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> ・通所事業所での日中活動の具体的な内容 ・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 <table border="1"> <tr> <td>【GHからの利用人数】</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>【通所の頻度】 1週間に</td> <td>日程度</td> </tr> </table> ・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	事業所名		サービス種別		利用定員		【GHからの利用人数】	人	【通所の頻度】 1週間に	日程度	
事業所名													
サービス種別													
利用定員													
【GHからの利用人数】	人												
【通所の頻度】 1週間に	日程度												

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 年に1回（毎年10月～11月）ライブラリ松戸上本郷・サニースポット松戸上本郷・町内会、近隣の住民と弊社の敷地を利用し防災訓練や出店、キッチンカー、ゲーム大会など大人から子供まで楽しめるイベントを行っている。出店は近隣の飲食店が低価格で提供。入居者やそのご家族も参加しています。	介護施設や町内会と合同で行っている避難訓練について様々な体験ができ、非常に評価いたします。 今後、町会と協定の締結等により、人的資源の融通など、非常時の相互支援体制を構築していただくことを要望いたします。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数 実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人	
		（受け入れの事例） 早稲田速記医療福祉専門学校から実習の依頼あり 日時調整中	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数： 40 人 うち市の事業による受け入れ人数： 0 人	短期入所を活用して環境に慣れていただく対応が丁寧で好感が持てます。重心の方の利用について継続的な支援をお願いいたします。 受け入れについてのノウハウを蓄積し、強度行動障害等のある方の安定した地域生活について、「支援モデル」として体系化（支援経過等）していただき、地域の他事業所へ還元できるようにお願いいたします。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 2026年1月より人員配置体制加算算定。 土日は早番7：00～16：00・日勤9：00～18：00・遅番11：00～20：00・夜勤16：30～9：30配置している。	
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	（具体的な連携状況の事例） 特別支援学校生については、3ヶ月ごと担当者会議実施。 保護者・相談員・移動支援・特別支援学校教員・放デイ・GH管理者/サビ官と全員で連携している。その他入居者のモニタリングも保護者、相談員と同席。体調不良や問題行動があった際も細かく通所先と連携している。通所先とのノートは毎日記入し、職員にも周知しております。	緊密な連携がなされていて良いと思います。

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について （必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 障害福祉サービス経験10年（支援員4年・管理者6年） 特例子会社・共同生活援助勤務 サービス管理責任者基礎研修終了（令和8年実践研修受講予定） 強度行動障害基礎・実践研修終了 介護初任者研修	介護福祉士に加え、社会福祉士・精神保健福祉士、保育士などがバランスよく配置されており、評価いたします。 各職員が自身の資格を活かし、専門性を発揮できるようキャリアパス制度を整備し、日中サービス支援型における専門的な実務経験を次世代へ引き継いでいただくようお願いいたします。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 障害福祉サービス経験31年 （支援員23年・サービス管理責任者8年） 生活介護・就B・共同生活援助勤務 介護福祉士・相談支援専門員初任者研修	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 介護福祉士6名 保育士2名 看護師1名 准看護師1名 社会福祉士/精神保健福祉士1名 日中サービス支援型経験者や入所施設（強度行動障害者）経験者が支援員におります。	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 別紙参照	看護師や准看護師が配置されている強みを活かし、相談支援事業所や訪問診療等と連携していただき、各利用者の将来的な医療依存度の増大へ備えていただくようお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 介護初任者研修・介護実務者研修取得制度あり 社内認定資格制度あり（リーダー・副施設長・施設長） 強度行動障害研修2名受講済み 順次受講予定	

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 （受け入れにおける具体的な判断基準について） 必ず体験利用をして頂く（2泊3日までは無料）または、慣れるまで定期的に短期入所を利用しお互いに関係性を作る。受け入れ不可となる場合は本人の入居に対する強い拒否がある場合です。 ・利用希望があった時に受け入れを断った例について （相談を受けてお断りした例やその後の対応について） 他、GHから転居希望の強度行動障害がある男性利用者が環境の変化からエアコン、空気清浄機を体験時に壊す行動あり。時間をかけて慣らす必要があるため短期入所を利用して頂いている。	医療的ケアの方の受け入れについてご検討ください。
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて ※業務継続計画（災害・感染症）等を添付すること	（避難訓練の実施状況、水や食糧の備蓄等について） BCP自然災害業務計画書作成済み。 避難訓練に関しては年2回、同じ施設のライブラリ松戸上本郷と合同訓練を行い、毎年10月は松戸新田町内会と近隣に住む方たちと一緒に消防訓練を行っています。	消防訓練について、実際の消防車が来たり、備蓄米を活用されたりと、良い取り組みであると思います。
16	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）		
17	その他	・グループホームにおける食事提供方法・金額等について タイハイの湯せんタイプ（主菜1品・副菜2品）白米、汁物は手作り提供。朝食400円・昼夕食500円。 ・施設のバリアフリー等、独自の工夫点について 全フロアバリアフリー対応。身体障害者用のリフト浴あり。全室介護用ベッド導入。	

報告・評価シート

【報告日】 令和8年 5月 13日
【評価日】 令和8年 5月 29日

法人名		社会福祉法人馬橋福祉会				【評価日】		令和8年		5月	29日
項目		【事業所記入欄】									
1	施設概要	事業所名	障がい者グループホームなでしこ				人員配置	日中			
		指定日	令和7年	1月	1日	世話人		生活支援員			
		所在地	松戸市西馬橋1-8-10					10人	9人		
		定員数（共同生活援助）	20人					（常勤換算後）	（常勤換算後）		
		定員数（短期入所）	1人					4.10	7.30		
		共同生活住居数	1戸					夜間			
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】		世話人	生活支援員					
		1F男性	10名		4.00	5.00					
		2F女性	10名		（常勤換算後）	（常勤換算後）					
			名		0.90	1.10					
2	利用者状況 （令和8年4月1日現在）	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）			
		区分1（非該当含）						身体	総 数：	2人	
		区分2							主に日中GHで過ごす人数：	0人	
		区分3						知的	総 数：	18人	
		区分4	4人						主に日中GHで過ごす人数：	0人	
		区分5	9人					精神	総 数：	0人	
		区分6	7人						主に日中GHで過ごす人数：	0人	
		合計	20人					難病等	総 数：	0人	
		年齢	人数				主に日中GHで過ごす人数：		0人		
		20代以下	1人				内訳②	障害特性		人数	
		30代	1人					医療的ケアが必要な者	0人		
		40代	5人					強度行動障害がある者	0人		
		50代	10人				内訳③	区分4以下かつ40代以下で、医療的ケアや強度行動障害等がない者			
		60代以上	3人					0人			

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3	地域連携推進会議の開催状況について（新規事業所の場合は令和8年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	令和7年 11月 14日
		参加委員数	9人
		開催方法	対面
		会議の構成員 (利用者家族、地域の関係者等)	矢切特別支援学校、民生委員 西馬橋地域包括支援センター 利用者、家族
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について	特別支援学校、民生委員、地域包括支援センターなど、幅広い分野の方で構成されており、評価いたします。特に、利用者の高齢化を見据え、既に地域包括支援センターと連携されている点が非常に素晴らしいです。 今後は、会議への参加にとどまらず、加齢に伴う身体機能低下や認知症リスクに備えた「ケア計画の共同作成」や、介護保険サービスへのスムーズな移行に向けた文書化についてご検討ください。 他分野、他世代との交流が取り上げられた点を評価いたします。 民生委員の方から地域交流のご提案がありましたが、利用者が地域活動に参加する際に、単なる「見守り」にとどまらず、地域の方が障害について理解を深められるよう、啓発を意識した活動の報告をお願いいたします。
		活動内容、現在の課題と対策	
		今後の展望	
		地域連携推進会議における要望・助言等について	
		矢切特別支援学校：重度の方の行き場を作ってくれてうれしい。	
		民生委員：地域交流で馬橋市民センターにボッチャなど交流会ができる。エレベーターの設備もあるので車椅子の方も来れる。	
		西馬橋地域包括支援センター：地域交流でゴミ拾いや認知症カフェを開催しているので来て欲しい。	
		地域連携推進員の訪問について	
		時期は、指定していないが定期的に情報の交換を行っている	
		議事録の公表方法について	
		紙ベースでグループホームに保管している	

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】当法人はこれまで、高齢者を対象としたサービスを中心に運営してきましたが、地域の実情を把握する中で介護を必要とする障がい者の方々が、生活の場が少ないことを知りグループホームの運営を開始しました。 【運営方針】関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図り、適切かつきめ細かい共同生活援助サービスの提供を行う。	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 買い物、散歩、体操、塗り絵、音楽鑑賞、折り紙 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数：20人 生活介護18名 就労継続支援B型2名 外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。	利用者の特性に応じた対応をお願いいたします。 全利用者が外部の日中活動サービスを利用されていますが、グループホーム内で過ごす場合の支援も考えられます。外出支援や趣味活動だけでなく、地域の方をグループホームに招く、あるいは地域内の既存の居場所（カフェやサロンなど）を活用し、地域社会と繋がる機会の開拓をお願いいたします。

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価										
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 買い物に同行したり、天気の良い日には散歩をしたり、町内会のゴミ拾いに参加しています。 体験的利用等のニーズに対応しているか。 今年度はありません (体験利用の事例)	利用者から要望があった際には可能な限り取り入れていただくをお願いします。										
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について <table border="1"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> ・通所事業所での日中活動の具体的な内容 ・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 <table border="1"> <tr> <td>【GHからの利用人数】</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>【通所の頻度】 1週間に</td> <td>日程度</td> </tr> </table> ・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	事業所名		サービス種別		利用定員		【GHからの利用人数】	人	【通所の頻度】 1週間に	日程度	
事業所名													
サービス種別													
利用定員													
【GHからの利用人数】	人												
【通所の頻度】 1週間に	日程度												

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 家族は部屋に入ってもらったり、共有スペースで日常生活の話をします。町内会のゴミ当番等を行っています。	
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数	実 習 生： 0人 ボランティア： 1人
		本の読み聞かせ	
		実習生等の受け入れについてご検討ください。	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数： 21人 うち市の事業による受け入れ人数： 0人	
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
		緊急の受け入れは行っていません	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 時間帯に応じて2人以上の職員を配置しています。	
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	新規利用者のご紹介と必要な情報提供。	

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について (必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 高齢経験を18年積み、昨年サービス管理責任者実践を取得している。介護福祉士、社会福祉主事任用、相談支援専門員も取得済。	利用者とのコミュニケーションについて更なる向上を図ってください。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 サービス管理責任者として15年勤務された実績あり。精神保健福祉士、相談支援専門員、強度行動障害実践研修研修を終了している。	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。	
		他社で10年以上重度の障害者入所施設、生活介護での経験があり、専門性も高く入所された利用者に対して対応策や関わり方の指示が出せる。身体拘束や虐待防止の研修担当をこなす職員に教育ができる。介護福祉士、社会福祉主事、強度行動障害実践研修終了している。	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 年間計画を立て、それに基づいて研修を実施している。オンラインでの研修動画を契約しておりそれを見て学べるようにしている。	オンライン研修動画を活用した学習環境については、職員間での「支援の質のバラつき」をなくすため、ICTツールを用いた情報共有（ヒヤリハットや成功事例等）や、管理者・サービス管理責任者から遠隔による助言が可能な体制の構築をお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 実務者研修、介護福祉士取得のサポートをしている。サービス管理責任者、強度行動障害への研修を積極的に行っている。	

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 医療系（看護師がいらないので）の受け入れはできない。家族、本人がホームのルールを守るかどうかを見極め関係機関との調整を行い判断している。	
		・利用希望があった時に受け入れを断った例について 医療行為が必要な方（インシュリン、痰吸引）	
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて ※業務継続計画（災害・感染症）等を添付すること	年2回以上の避難訓練を実施。感染症の研修も年2回以上実施。	年2回の避難訓練について、町内会や周辺住民と連携し、具体的な避難誘導や役割を明確にした、実践的な合同防災訓練の実施をご検討ください。 利用者が災害弱者として孤立せず、速やかに避難できる体制の構築をお願いいたします。
16	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	地域連携推進会議ではホーム利用者の年齢が高いので地域包括支援センターの職員に参加してもらえるように調整を行い実施の際に参加して助言をいただく。地域活動の取り組み、ボランティア活動では民生委員の方の助言で活動場所を確認し実際に今後参加する。	
17	その他	・グループホームにおける食事提供方法・金額等について 朝400円、昼550円、夕550円（提供時に写真で残しています）	食事提供について、食形態の考慮や、提供時の写真を残すといった工夫が評価できます。 さらなるQOL向上のため、季節感のある食事メニューの提供や、利用者の嗜好を尊重した献立作り等の「食の選択肢」を広げる取り組みを支援計画の中で具体化していただくようお願いいたします。
		・施設のバリアフリー等、独自の工夫点について トイレは介助バー、リフト浴、段差なし、エレベーターあり	

報告・評価シート

【報告日】 令和8年 5月 13日
【評価日】 令和8年 5月 29日

法人名		ソーシャルインクルー株式会社				【評価日】		令和8年 5月 29日		
項目		【事業所記入欄】								
1	施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀				人員配置	日中		
		指定日	令和6年	12月	1日	世話人		生活支援員		
		所在地	松戸市東平賀275-1					7人	2人	
		定員数（共同生活援助）	10人					（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		定員数（短期入所）	1人					2.0人	2人	
		共同生活住居数	1戸					夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】		世話人	生活支援員				
		【住居名を記載】			9人	1人				
		【住居名を記載】			（常勤換算後）	（常勤換算後）				
		【住居名を記載】			1.86人	0.77人				
2	利用者状況 （令和8年4月1日現在）	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）						身体	総 数：	0人
		区分2							主に日中GHで過ごす人数：	
		区分3	1人					知的	総 数：	5人
		区分4	4人						主に日中GHで過ごす人数：	
		区分5	5人					精神	総 数：	5人
		区分6							主に日中GHで過ごす人数：	
		合計	10人					難病等	総 数：	0人
		年齢	人数						主に日中GHで過ごす人数：	
		20代以下	2人				内訳②	障害特性	人数	
		30代	1人					医療的ケアが必要な者	0人	
		40代	3人					強度行動障害がある者	3人	
		50代	3人				内訳③	区分4以下かつ40代以下で、医療的ケアや強度行動障害等がない者		1人
		60代以上	1人							

1/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
3	地域連携推進会議の開催状況について（新規事業所の場合は令和8年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	2025年	12月	25日	行政機関や医療機関の連携していただくにより良くなると思われます。		
		参加委員数	8人					
		開催方法	対面・オンライン・その他					
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	利用者代表・保護者代表・福祉関係者・町会長・町会副会長・オーナー・管理者					
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について						
		施設概要、利用者様状況、利用者様の主な日中の活動について、利用者に対する地域生活の支援状況について、支援体制の確保について、地域に開かれた運営について、利用者の健康管理、医療連携について、短期入所の併設について、感染症対策と業務継続計画について、虐待防止、事故防止の政策について、非常災害対策、相談支援事業者など、地域のおサービス事業所との連携状況について						
		地域連携推進会議における要望・助言等について						
		【自治会長から地域行事や地域の役割についての話】 毎年、地区運動会、バザー、夏祭り、餅つきなど、年末年始行事がある。GHのことをよく知らなかったの、参加できそうなものがあつたら声掛けいたしますので、皆様にもぜひご参加していただけたらと思います。参加していただいたほうが、住人達も「こんな人たちが暮らしているのだ」という認識や理解に繋がっていくと思います。避難訓練も毎年地区単位で行っているの、避難場所なども把握していただき、いざという時は協力していきましょう、との助言				自治会との交流が推奨されることから、町会長より地域行事へお誘いされている点は非常に大きな強みであると考えます。 今後は、受け身で行事参加をするだけでなく、ホーム側から、ごみ拾い等の美化活動への協力といった地域貢献を提案し、双方向の交流へ発展することが理想的であると思われます。		
		地域連携推進員の訪問について						
		（施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載） 令和7年10月頃に会議開催のお知らせを関係者に電話や文書で連絡し、事前に聞きたいことがあれば記入していただけるようアンケートも同封して会議への参加を依頼。松戸市の行政については、電話にて会議への参加の依頼をしたところ、今回は都合がつかないとのこと、不参加となりました。また、次回以降は文書での会議出席依頼が必要とのこと						
		議事録の公表方法について						
		本社と各ホームにて書面にて公表						

2/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】（別紙でも可） 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営規定 第1条をご参照ください。	
		【運営方針】（別紙でも可） 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 入浴介助・更衣介助・排泄介助・居室掃除・洗濯補助・健康管理・服薬管理・金銭管理・受診・外出同行・行政手続きの代行や同行などご入居者様ができない部分を支援しています。また一緒に余暇活動(散歩や卓上ゲーム等)も行っております。祝日は散歩に行ったり、近隣の地域活動に参加しています。	
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	
		「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 9人	
		(外部の日中活動サービス種類及び人数) 生活介護事業所 6名 就労支援B型事業所 3名	
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください 日中活動サービスを利用していない方が1名います。主な理由は1日中怒鳴るような声出しをしているため、受け入れ先が難しく主治医とも相談をしています。相談員様とも日中活動について話し合い、まずは移動支援を利用して社会参加してはどうかということになり、令和8年2月より週一回の移動支援の利用を開始。ご本人様も楽しみにされていて、支援中に声出しも特になく様子なので、利用頻度を増やしていく予定。 ホーム内での生活スケジュールは規則正しく生活できるように声をかけをし、15時に個人で用意しているおやつを適量提供しています。また運動不足にならないように散歩に行くことをご本人様に毎日確認し同行しております。散歩に行かない時は共有スペースにてテレビ鑑賞したり、職員と卓上ゲームや居室掃除を一緒にしています。個人契約の訪問看護が週一回訪問し情報共有をしたり、短時間の散歩にも外出しています。日中活動がお休みでホームにいる方も同様です。訪問リハビリやマッサージを利用し、ホーム内で歩行訓練されている方もいます。お話が好きな方は職員と話をしたり、相談を受けたりしております。	

3/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 移動支援を利用し、柏スタジアムでサッカー観戦や東京ドームで野球観戦をする方、外食やショッピングモール、ボーリングを楽しまれている方がおります。ご実家に泊まれる方や、ご家族と外出や外食をされる方がおりますので、それぞれのスケジュールに合わせ、入浴時間や食事の発注と提供時間を変えています。外出時の薬の用意や外出前の身支度、金銭管理を支援しております。地域で行われている「小金わくわく農園」に問い合わせたところ「ぜひご参加下さい」とのことでご家族に了承を得て参加しています。令和8年3月に種まきから始まり、半年後には収穫まで一連の作業に参加することで地域との交流も深めています。	ご本人の希望に寄り添う支援で、移動支援の活用により色々な体験ができており素晴らしいと思います。
		体験の利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) 令和7年5月1日から令和8年5月1日までの間3名が弊社施策の無料体験入居最長1週間利用し、うち3名が入居の運びになりました 【事例①】入院中の強度行動障害のある方が退院後の住居を探しており、家族への暴力行為があるため家族との生活が困難との方が体験利用を通じてGHに入居しましたが、危険行為が続いたため2ヶ月で退去となりました 【事例②】自宅から生活介護を利用していた方が、通所先を変えずにGHに入居したいとの希望があり、無料体験をしていただきました。体験中は職員と「どのような支援が必要か？」を経過観察し、相談員様や入院先と情報共有し、入居につなぐことができました。 【事例③】特別支援学校を卒業したばかりの18歳男性。ご両親とも高齢のため社会人になるタイミングでGHに入居したいとのことで無料体験利用し、職員間で経過観察。各関係者との情報共有の末、本入居になられた方もおります	
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について 事業所名 サービス種別 利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度	
		・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	

4/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価			
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	今後も地域の方との交流を継続していただくようお願いいたします。			
		・ご家族と外出される方がおり、制限はなく、自由にご家族やご友人とご対面できます。年末年始などの長期連休時はご実家に連泊されたり、月一回はご実家に泊まれる方もいらっしゃいます。 ・町内会に加入しており、回覧板が回ってくるので、参加できそうな催しには利用者様の安全を確保して参加しようと思っております。また散歩や通院同行事、近隣の方と交流を持つように挨拶や会話をしております。 ・ホームで行う避難訓練の際には管轄されている消防署にご参加いただき、ご入居者様の状況を共有し、避難経路や火災時の対応方法等ご指導いただくこともあります。この1年では参加の要請をしたが消防署の都合により消防職員の参加はありませんでした				
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	社会福祉協議会等のボランティア活動について活用をご検討ください。			
		<table><tr><td>受け入れ人数</td><td>実 習 生：</td><td>0人</td></tr><tr><td></td><td>ボランティア：</td><td>0人</td></tr></table> (受け入れの事例) ご入居の際に弊社社員により引っ越しの荷物を運び居室に配置いたしました。今後は外部のボランティアの受け入れを積極的に検討して参ります。		受け入れ人数	実 習 生：	0人
受け入れ人数	実 習 生：	0人				
	ボランティア：	0人				

5/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数： 4人 うち市の事業による受け入れ人数： 1人	緊急時の受け入れ体制が確保できている点が評価できます。受け入れの実績を重ねるにあたり、緊急受け入れが可能である具体的な基準を相談支援事業所や行政に対して開示し、地域生活支援拠点としての機能強化について望みます。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 【地域生活支援拠点として相談を受けた方】 ①ご家族との関係性に悩み不穏になっているとのことで、相談員様からご連絡をいただきました。8か月ほど短期利用をされたところで他のGHに本入居が決まりました ②休職中で、ご家族との関係性に悩み、少し離れる時間を確保したいとのことで、相談員様からご連絡をいただきました。利用予定で契約したものの、復職後は家族との距離感が良くなり、利用には繋がりませんでした。 【その他】 ③他1名様は外泊に慣れていきたいとのことでGHの短期契約をされましたが、疥癬の感染症が発生してしまい、すぐには受け入れすることが不可になり、その間に他のグループホームに本入居が決まったため利用には繋がりませんでした。 ④他1名様は母親が入院予定があり、1人での生活が困難なため、短期入所を利用したいと言う方がおり、4月に1度利用されています。楽しく過ごせたのでまた利用したいとお話がありました。	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日勤2名・夜勤2名での支援体制です。日勤は共有部や居室の掃除、入浴介助や散歩、買い物・受診同行等を行っております。お風呂は都度掃除をし、湯の入れ替えをしており、毎日清潔に入浴をしていただいております。 居室掃除も入居者様によっては一緒に行います。支援が必要な方は職員が行います。 夜勤は夜間の2～3時間おきの巡視を実施。朝は全入居者様の血圧、体温、血中酸素濃度を測定しています。日勤・夜勤は食事の時間までに調理し提供。服薬管理も行います。また定時でおむつ確認を行っています	

6/10

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	(具体的な連携状況の事例) ご入居者様のご希望や、体調の変化、お怪我や入院等があった際は、必ず関係する事業所へご連絡し、必要に応じて担当者会議を開き、情報共有と安全な支援方向について一緒に考えます。 事例①強度行動障害の方がご入居していたのですが、離設を繰り返したり、包丁を振り回したり、他の利用者様に高圧的な接し方をされて不穏にさせてしまう等、支援が難しい場面があり。相談員やかかりつけ医や訪問看護、ご家族と情報共有し、支援方法について協議を重ねる。弊社内で重度支援のために職員の配置の厚い別のグループホームが近隣にあるため、ご家族の希望もあり、転居されました。 事例②知的障害で自分の意思を伝えることが困難、人と関わることを極度に避ける方について。休日など他利用者が在所している時はトイレに行くことが難しく、おむつに尿や便を失禁してしまうことが続いている。食後に「今はトイレが空いているので入ってください」等の声かけをしているが、自分が排泄したいタイミングでないとトイレへ行かない。排泄したいタイミングに廊下を誰か歩いていると。やはりトイレに行くことができず失禁を繰り返してしまう方がいる。排便記録シートをつけ始めたので、訪問看護と情報を共有し、失禁してしまう前後の状況判断の材料として、声掛けのタイミング等のバランスを考えて利用者が快適に過ごせるようトイレに行きやすい環境設定を作っていく 事例③ 両親が高齢のため、社会人になるタイミングでGHを利用したいとの希望があり。令和8年4月に入居されたばかりの知的・精神障害の18歳男性について。新しい環境に適應するためには時間がかかるため、まずはグループホームを利用しながら自宅や安心できる地元の短期入所なども併用し、少しずつグループホームの滞在時間を長くして環境に慣れていきたいとの希望があり、相談員様とも情報を共有し、本人に負担が少ないよう支援を行っていく。環境に慣れたら、本人希望のお菓子作りやパン作りをできるような就労支援に繋げる予定で相談員やご家族と協議している。	ご本人の特性に合った環境で生活することが望ましく、各事例に対し、丁寧に対応されていると思います。

7/10

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12 従業員の資格取得状況や実務経験について (必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 平成25年5月から令和2年12月まで訪問介護員 令和2年12月から令和3年12月まで就労支援A型 職業指導員 令和4年1月から令和7年11月まで 弊社にてサービス管理責任者として従事 令和7年12月より管理者とサービス管理責任者を兼務 資格 精神障害者ホームヘルパー・同行援護従事者 介護福祉士・千葉県相談支援従事者 初任者研修・サービス管理責任者基礎研修・実践研修 令和8年2月強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践受講 ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 管理者が兼務している ・支援スキルの高い従業員を置いているか。 社会福祉士1名・介護職員、初任者研修3名・移動支援、従業員養成研修1名・訪問介護員2級要請、研修課程1名、経歴として、生活介護や就労継続支援A型の職業指導員をされていた方が3名います。知的障害者入所施設でサービス管理責任者をされていた方、特別養護老人ホームで生活支援職員をされていた方がそれぞれ1名います。	
13 障害福祉関連事業における経験がない従業員に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 事業所内研修、会社での年間研修計画あり。(年間研修スケジュールをご参照ください。)毎月ホーム会議を行っており、入居者様の支援方法や障害特性について確認しております。事業障害研修、会社として、強度行動障害研修やサビ管に関する研修は、エリアマネージャーを中心に受講推奨、管理しています。生活支援員も率先して取得していきたいと考えております。 ・資格取得への取り組みはあるか。 サービス管理責任者や共同行動障害に関する研修については、受講費の控除があります。その他の資格取得に向けた講習や研修については長々と検討の上、対応しております	強度行動障害支援者養成研修について、管理者をはじめ積極的に受講されるなど、ホーム全体の専門性を高める動きが評価できます。 専門知識を現場の介護職員全体に広げるため、社内におけるスーパービジョンの体制を構築することで、組織全体での支援技術の均質化を図るようお願いいたします。

8/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 (受け入れにおける具体的な判断基準について) 添付させていただいた運営規定をご参照願います。共同生活援助、第8条(入居にあたっての留意事項)、短期入所第9条(サービス利用にあたっての留意事項)、運営規定にある規定を守っていただくとともに、特性に合わせ、支援の検討などをご相談させていただいた上で、ここに決めて参ります。 ・利用希望があった時に受け入れを断った例について (相談を受けてお断りした例やその後の対応について) 精神で入院中の方の病院へ伺い、本入居ご希望の方のアセスメントを行いました。が、同時期に他にも入居者希望者があり、職員で検討しましたが、もう一方の方が緊急性があるとの判断にて、設備の問題や人員を必要とするため、お断りいたしました。	
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて ※業務継続計画(災害・感染症)等を添付すること	(避難訓練の実施状況、水や食糧の備蓄等について)	消防署の協力の下、避難訓練を実施されており良いと思います。
16	協議会からの要望、助言への対応(2回目以降記入)	「地域に開かれた運営について」でご質問のあった松戸市避難行動、要支援者名簿の個人登録されているのですか？について、福祉長寿部福祉政策課に確認しましたら、グループホームに入居されている方は登録できないとのこと返答でした。「主治医の指示に基づいた訪問看護」について、医療連携体制として、会社で委託している。訪問看護とは別に、ご入居者様、それぞれで、ご契約しております訪問看護が主治医の指示書のもと、健康管理されております。	今後は、地域の避難所運営委員会や町内会と連携し、障害がある方が避難した際の具体的な誘導や支援について実践的な訓練を実施していただくようお願いいたします。
17	その他	・グループホームにおける食事提供方法・金額等について 食事については食品配送会社に依頼して、宅配業者の栄養士がレシピを考え、ホーム職員がレシピ通りに3食手作りの食事を提供しています。月額27000円でしたが食費高騰により令和8年4月より月額33000円で提供しています(朝食220円、昼食410円、夕食470円)	

9/10

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
17	その他	・施設のバリアフリー等、独自の工夫点について 車椅子の方でも生活しやすいように、エレベーターや車椅子用トイレの設備、リフト浴もあります。洗面台も1回2回とも車椅子の方でも使いやすい仕様になっております。風呂場に段差がなくバリアフリーになっています。 レクリエーションも積極的に行っています。 【1月】簡単な調理器具を利用した手作り「新年餃子パーティー」を開催しました。「調理をするのは初めて」という方もいらっしゃる、大変好評で「またやりたい」との声がありました。 【2月】はバレンタインで職員がプリンを作り、盛り付けを利用者様方で行っていただきました。 【3月】お弁当を購入して近隣のお寺でお花見を行いました。歩行可能な方は職員と歩いて、歩行困難な方は社用車にて職員が送迎し、現地集合して桜を愛でながら笑顔いっぱいのお花見開催となりました。 【5月】連休中にボランティアの方をグループホームに呼んでマジックショーを開催。初めて見るマジックに皆様感嘆の声を上げておられました。今後もレクの開催を 土日祝日等、通所がお休みの時は歩行可能な利用者様数人と近隣のお寺や神社に散歩へ行ったり気分転換を図れるよう日中の余暇活動も充足できるよう支援をしています。 不定期で、月に一度ほど地域で行われている「小金わくわく農園」について松戸市に問い合わせたところ「ぜひご参加下さい」とのことでご家族に了承を得て参加しています。令和8年3月にエンドウ豆の種まきから始まり、半年後には収穫まで一連の作業に参加することで地域との交流も深めています また、七夕・ハロウィン・クリスマスのイベントを楽しむ一環で、ホーム内を飾り付けしました。 訪問歯科・訪問医療も、必要な方は個別で契約していただき、緊急時や健康に不安がある時なども、医師からの指示を受けやすくしており、情報共有をしております。	様々な体験ができていると思います。

10/10

報告・評価シート

【報告日】 令和8年 5月 13日
【評価日】 令和8年 5月 29日

法人名		ソーシャルインクルー株式会社社会社							
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム松戸上矢切			人員配置	日中		
		指定日	令和8年	1月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	千葉県松戸市上矢切398-1				23人	4人	
		定員数（共同生活援助）	20人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		定員数（短期入所）	2人				7.5人	3.4人	
		共同生活住居数	1戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人	生活支援員	
		ソーシャルインクルーホーム松戸上矢切Ⅰ	10名				14人	3人	
		ソーシャルインクルーホーム松戸上矢切Ⅱ	10名				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		短期入所 松戸上矢切	2名				1.9人	0.2人	
2	利用者状況 （令和8年4月1日現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）	0人				身体	総 数：	3人
		主に日中GHで過ごす人数：	0人						
		区分2	0人				知的	総 数：	6人
		主に日中GHで過ごす人数：	3人						
		区分3	3人				精神	総 数：	11人
		主に日中GHで過ごす人数：	8人						
		区分4	10人				難病等	総 数：	0人
		主に日中GHで過ごす人数：	0人						
		区分5	5人			内訳②	障害特性	人数	
		区分6	0人				医療的ケアが必要な者	0人	
		合計	18人			強度行動障害がある者	1人		
		年齢	人数			内訳③	区分4以下かつ40代以下で、医療的ケアや強度行動障害等がない者		
		20代以下	4人				4人		
		30代	1人						
		40代	7人						
50代	5人								
60代以上	1人								

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議の開催状況について（新規事業所の場合は令和8年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	令和8年	9月	調整中	開催予定の地域連携推進会議において、一方的な報告の場ではなく、地域住民や関係者が意見を述べやすい会議づくりをお願いいたします。 今後、訪問されている医師や看護師、訪問看護ステーションといった医療職の参加についてもご検討ください。	
		参加委員数	5人				
		開催方法	対面・オンライン・その他				
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	ご利用者、ご家族、計画相談、地域民生委員				
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					
		施設・事業所の開設報告・地域連携体制の構築について・利用状況の報告・地域課題の共有・苦情・ヒヤリハット報告・地域交流・広報活動・今後の運営方針					
		地域連携推進会議における要望・助言等について （会議において推進員等からの要望や助言を記載）					
		地域連携推進員の訪問について （施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）					
		日程については現在調整中					
		議事録の公表方法について					
施設内掲示				引き続き調整をお願いいたします。			
議事録については施設内掲示だけでなく、可能な範囲での公表も検討し、透明性の高い運営を目指してください。							

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】（別紙でも可） 別紙参照	
		【運営方針】（別紙でも可） 別紙参照	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	利用者に必要な支援について、継続して実施をお願いいたします。
		・食事の提供/通院同行/買い物同行/散歩同行 ・食事介助/排泄介助/入浴介助	
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	
		「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 5 人	
		（外部の日中活動サービス種類及び人数） ・生活介護 1人 ・就労支援B型 3人 ・デイケア 1人	
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。	
		開設して、施設的环境に慣れて頂いてから、日中活動先へご案内予定 お食事以外は居室でテレビを観たり、共有部で他入居者と談笑や将棋、オセロ、塗り絵や近隣散歩、買い物同行。訪問看護利用、訪問リハビリ利用等の個々のスケジュールがある。	
		開所まもないため現在は施設内での活動が中心ですが、個々の意欲やQOL向上のため、地域資源（地域サロン、図書館、スポーツ等の社会参加）の積極的な活用についてご検討ください。 訪問リハ等の個別対応については今後も継続した対応をお願いいたします。	

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	利用者の要望も聞きながら支援していただければと思います。						
		・1回/月程度の買い物同行 ・ドライブを兼ねて公園へお散歩 ・毎月の誕生会/季節イベントの実施予定							
		体験的利用等のニーズに対応しているか。							
		（これまでの体験利用者の人数） 21名 （体験利用の事例） ・基本的にはご入居前に無料のトライアル体験（6泊7日）を行っていただき、双方同意の上でのご入居となっております。							
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について <table><tr><td>事業所名</td><td></td></tr><tr><td>サービス種別</td><td></td></tr><tr><td>利用定員</td><td></td></tr></table>	事業所名		サービス種別		利用定員		
		事業所名							
		サービス種別							
		利用定員							
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容							
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況							
		【GHからの利用人数】 【通所の頻度】 1週間に 人 日程度							
・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み									

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 自治会の加入、地域の民生委員さんの紹介をしていただきました。ご家族様については交流をしております。 ・今後、地域の皆様には地域連携推進会議開催をきっかけに、地域イベントの参加も含め検討、議事録にて開示できればと思っております。	地域の方との連携があり、良いと思います。 将来的な地域の理解者育成のため、松戸市の福祉教育や養成校と連携し、実習生を受け入れる体制を整えていただくよう要望いたします。 ボランティアの受け入れについては近隣の福祉学校や社会福祉協議会等との連携をご検討ください。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数 実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人	
		(受け入れの事例)	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数： 0人 うち市の事業による受け入れ人数： 0人	緊急時の受け入れ体制に対応いただけるよう、ご準備をお願いいたします。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	
		・現在、日中/夜間/共に（1階・2階の合計）4名体制になるように人員確保に努めています。夜勤については3名体制の日もあり	
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	(具体的な連携状況の事例) ・入居受け入れの担当者会議 ・ご本人様の状態が変化した時 ・各関係者、間で情報共有が必要と感じた時 ・月次のご挨拶（電話/訪問/来設時） ・相談支援相談員と日常的な情報共有を行い、課題の把握に努めている など、連携を図るようにしています。	月次の情報共有については単なる日常の報告だけでなく、サービス等利用計画の目標達成に向けた「評価」を、相談支援専門員とより深く共有し、本人の変化を多角的に捉えられる習慣づくりに努めてください。

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について (必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)	・支援スキルの高い管理者を置いているか。	
		障害福祉分野での実務経験やマネジメント経験を有する管理者を配置し、地域機関との連携や職員指導もしております。また定期的な研修やケース検討を通じて職員全体の支援向上にも取り組んでいます。	
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。	
		福祉サービスに関する知識、経験を有し法令や個別計画の作成、モニタリングにも精通したサービス管理責任者を配置しております。また、定期的な研修の参加やケース検討、関係各所との連携を通じて支援スキルの向上に取り組んでいます。	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・支援スキルの高い従業者を置いているか。	精神・知的・医療的ケアなど多様なニーズを抱える利用者がいることから、事業所内研修に加え、医療機関や相談支援事業所等の外部の専門機関を交えた「ケース検討会」を定期的に行い、職員のスキルアップを図るよう要望いたします。
		経験豊富でスキルの高い職員を配置している一方で、未経験からスタートする職員もおります。そのため、入社前研修や基礎スキルトレーニングといった社内研修やケース会議を通じて、支援方向や利用者対応について継続的に学べる体制を整えています。全体で支援の質を高めて安定した支援を提供できるように努めています。	
		・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。	
		外部研修の受講計画（年間スケジュールはなし） 事業所内では毎月1回全職員を対象とした研修を実施（年間スケジュールあり）	
		・資格取得への取り組みはあるか。	
		各種研修への参加や資格取得を推進しております。	

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 (受け入れにおける具体的な判断基準について) ・心身の状態が事業所の支援体制で対応が可能か・他利用者様との共同生活が可能か・医療服薬等への対応が可能か・本人、ご家族が支援方針をご理解して下さるか・空室状況や職員配置上、適切な支援が可能か、以上を踏まえ関係機関と連携し総合的に判断しています。	
		・利用希望があった時に受け入れを断った例について (相談を受けてお断りした例やその後の対応について) ・行政からのご相談でご本人と面会したが、ご本人の入居意思がなく難しいと判断した。	
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて ※業務継続計画(災害・感染症)等を添付すること	(避難訓練の実施状況、水や食糧の備蓄等について) 3日分の簡易トイレ、水、食料の備蓄あり。 ・災害時対応マニュアルを整備し、緊急連絡体制や避難場所の確認、ハザードマップの確認も行っています。BCPをファイリングして災害時確認できるよう共有してあります。年間計画で、避難訓練2回予定しており、1回は3月に実施済み。次回9月は消防署立ち合いで訓練をする事になっています。	BCPに記載されているフローチャートや、消防署立ち合いの訓練計画は非常に良い取り組みであると思われます。 今後は、単純な避難訓練だけでなく、感染症発生時や夜間停電時を想定した訓練を実施することで、より実践的な計画になるよう努めてください。
16	協議会からの要望、助言への対応(2回目以降記入)		
17	その他	・グループホームにおける食事提供方法・金額等について 食品業者と提携して手作りの料理を提供。 朝食220円 昼食410円 夕食470円	生の食材をホームで調理、提供されており、大変すばらしく思います。 衛生管理に気を付けていただき、実施をお願いいたします。
		・施設のバリアフリー等、独自の工夫点について 施設全体バリアフリーとなっています。	

報告・評価シート

【報告日】 令和 8年 5月 12日

【評価日】 令和 8年 5月 29日

法人名		株式会社 国土信和							
項目		【事業所記入欄】							
1	施設概要	事業所名	しんわ松戸			人員配置	日中		
		指定日	令和 5年	2月	1日		世話人	生活支援員	
		所在地	千葉県松戸市中和倉467-1				10人	12人	
		定員数（共同生活援助）	20人				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		定員数（短期入所）	1人				6.6人	6.4人	
		共同生活住居数	1戸				夜間		
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人	生活支援員	
		しんわ松戸ユニット1	10名				6人	人	
		しんわ松戸ユニット2	10名				（常勤換算後）	（常勤換算後）	
		しんわ松戸ショートステイ	1名				5.6人	人	
2	利用者状況 （令和8年4月1日現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
		区分1（非該当含）					身体	総 数：	0人
		主に日中GHで過ごす人数：	0人						
		区分2					知的	総 数：	19人
		主に日中GHで過ごす人数：	0人						
		区分3	1人				精神	総 数：	1人
		主に日中GHで過ごす人数：	0人						
		区分4	1人				難病等	総 数：	0人
		主に日中GHで過ごす人数：	0人						
		区分5	8人				内訳②	障害特性	人数
		区分6	10人					医療的ケアが必要な者	0人
		合計	20人				強度行動障害がある者	17人	
		年齢	人数				内訳③	区分4以下かつ40代以下で、医療的ケアや強度行動障害等がない者	1人
		20代以下	4人						
		30代	5人						
		40代	5人						
50代	5人								
60代以上	1人								

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議 の開催状況について（新規事業所の場合は令和8年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	令和 7年	5月	28日	特別支援学校の関係者を構成員に含めていることを評価いたします。次回はご出席いただけることを期待しております。
		参加委員数	6人			
		開催方法	対面・オンライン・その他			
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	利用者の保護者、矢切特別支援学校在校生保護者、本社職員、施設長（町内会役員、矢切特支教職員は当日キャンセル）			
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について				
		・利用料も含めた概要説明 ・入居者の現況 ・日中の活動 ・土日の様子 ・平日のタイムスケジュール 等				
		地域連携推進会議における要望・助言等について				
		お風呂に毎日入れないグループホームが多いと聞いたが、しんわ松戸ではどうか、といった質問や土日に実家へ帰宅できるのかといった質問をいくつかいただきましたが、概ね現在の取り組みで納得していただきました。それ以外特にこれといったご指摘はございませんでした。				
		地域連携推進委員の訪問について				
		地域連携推進会議そのものをしんわ松戸で開催したため、会議の前に見学していただき、その場その場でご質問にお答えしました。				
議事録の公表方法について						
印刷・ファイリングし、施設見学者や来所された保護者の方々にご覧いただいております。						

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】（別紙でも可） 別紙事業計画参照	
		【運営方針】（別紙でも可） 別紙事業計画参照	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	各個人に対応した幅広い支援があるとより良いと思います。
		生活に沿った内容の支援を重視して行っている。 ・買い物同伴や通院同伴等基本的な生活の支援 ・掃除や洗濯等の日常生活スキルの支援 ・食事や入浴、排せつ等のADL面の支援	
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	
		「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 20人	
		（外部の日中活動サービス種類及び人数） 生活介護 19名、就労継続支援B型 1名	
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。	
	非該当		

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	余暇活動の選択において反応の良さを大切にされている点は評価いたします。 余暇の好みや満足度を定期的に簡易評価し、記録に残すなど、「意思決定支援」のプロセスを強化し、利用者の特性に応じた「個別支援計画」に基づき、本人の主体的な選択肢を増やすことを期待いたします。
		体験的利用等のニーズに対応しているか。	
		（これまでの体験利用者の人数） 4名（令和7年度）	
		（体験利用の事例） 令和7年度は4名の方の退居に伴い、新入居者向けの体験利用を4名行いました。その全員が入居され、現在は満室のため体験利用を受けられなくなっております。	
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について	
		事業所名	
		サービス種別	
		利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況	
	【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度		
	・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み		

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について (必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)	・支援スキルの高い管理者を置いているか。	
		・障害福祉に関する業務歴12年 ・介護福祉士資格保持 ・強度行動障害実践研修修了者 ・しんわ松戸在勤3年半（オープン時より在籍）	
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。	
		・障害福祉に関する業務歴12年 ・介護福祉士資格保持 ・強度行動障害実践研修修了者 ・しんわ松戸在勤3年半（オープン時より在籍）	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・支援スキルの高い従業者を置いているか。 精神保健福祉士 2名 社会福祉士 1名 介護福祉士 5名 強度行動障害実務者研修修了者 4名 強度行動障害基礎研修修了者 6名 初任者研修修了者 2名	
		・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ・3週間に1回、障害者福祉従業者向けのWeb動画を用いて研修。各自事業所PCを用い、個別に勤務時間内に視聴→研修報告書提出にて終了。 ・半年に1回、グループディスカッションを中心とした集合研修を実施。 ・事業所に定着する勤続半年を目的に強度行動障害基礎研修を受講していただいています。	Web動画研修の活用は効率的ですが、フィードバックをしていただくとより理解が深まると思われます。 また、対話方式の研修は非常に良いと感じました。 今後は、強度行動障害等の専門分野において、専門職による指導・助言などスーパービジョン体制の構築を図り、経験の浅い職員が孤立せず相談できる環境整備を法人内で実施してください。
		・資格取得への取り組みはあるか。 法人内資格支援制度あり ※別紙参照	個々のスキルを上げるのは大変重要であると考えます。

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 経験上支援区分や症状において多様な方が増えるほど支援が難しくなっていくことを踏まえ、原則として現利用者に近い「区分5以上」「知的障害者」「強度行動障害がある方」を一つの基準とし、入居問い合わせのある場合にはその旨お伝えしたうえで話を進めさせていただいております。 ・利用希望があった時に受け入れを断った例について 毎回現入居者の状況をご説明したうえでご見学から進めており、直近1年間におきまして、こちらから見学・体験・入居をお断りした事はありません。逆に見学に来られて現況にご納得をし、利用者側からご辞退されたことは何度かございます。	
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて ※業務継続計画（災害・感染症）等を添付すること	・年に2回の災害避難訓練を実施。内1回は管轄消防署にお願いし、実地で指導をしていただきました。 ・利用者、職員数の水と食料を3日分備蓄。 ・BCP計画書作成（別紙）	災害時だけでなく、感染症流行時や職員の大量欠勤時など、複数のシナリオに基づいた机上訓練（テーブルトップ演習）を定期的の実施し、結果を職員間で共有することで計画を見直す機会を設けてください。
16	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	5：職員配置について 支援員に関しては、同性介助以外の縛りを設けておらず、利用者の担当どころか各ユニットの担当も決めておりません。各支援員同士情報共有を徹底し、前の日に翌日の配置をローテーションで決めて支援しております。 6.12.13.14のご指摘は、本文をご参照ください。	各担当を決めていないことは支援員が各利用者の特性を理解する機会として良いと思います。
17	その他	・グループホームにおける食事提供方法・金額等について 通常であれば、日勤帯職員が残っている間に食事を終わらせようとしてしまいがちだが、夜勤帯職員を多く配置することにより比較的利用者のペースで食事を提供できている。 ・施設のバリアフリー等、独自の工夫点について 建物内の窓・物置を除くすべての扉を吊り引き戸にし、全面バリアフリーの状態にしております。	夜勤職員の手厚い配置により、ペースに合わせた食事提供ができている点は非常に良いです。今後も利用者様の特性に合わせた支援体制の継続をお願いいたします。 さらに、利用者の健康増進のため、管理栄養士と連携した栄養価の管理や誤嚥リスク等に応じた個別調理の提供についてどのように担保されているか、モニタリング指標へ明示していただくよう要望いたします。

報告・評価シート

【報告日】 令和 8年 5月 11日

【評価日】 令和 8年 5月 29日

法人名		株式会社 国土信和								
項目		【事業所記入欄】								
1	施設概要	事業所名	しんわ五香			人員配置	日中			
		指定日	2025年	9月	1日		世話人	生活支援員		
		所在地	千葉県松戸市五香7-12-23				3人	7人		
		定員数（共同生活援助）	10人				（常勤換算後）	（常勤換算後）		
		定員数（短期入所）	1人				3人	5.7人		
		共同生活住居数	戸				夜間			
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人	生活支援員		
		ユニット1	0名				人	4人		
		ユニット2	8名				（常勤換算後）	（常勤換算後）		
		【住居名を記載】	名				人	3.4人		
2	利用者状況 （令和8年4月1日現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）			
		区分1（非該当含）					身体	総 数：	0人	
		主に日中GHで過ごす人数：	0人							
		区分2					知的	総 数：	8人	
		主に日中GHで過ごす人数：	0人							
		区分3					精神	総 数：	0人	
		主に日中GHで過ごす人数：	0人							
		区分4					難病等	総 数：	0人	
		主に日中GHで過ごす人数：	0人							
		区分5					内訳②	障害特性		人数
		区分6	8人			医療的ケアが必要な者		0人		
		合計	8人			強度行動障害がある者		8人		
		年齢	人数			内訳③		区分4以下かつ40代以下で、医療的ケアや強度行動障害等がない者		0人
		20代以下	6人							
		30代	1人							
		40代	1人							
50代										
60代以上										

1/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
3	地域連携推進会議の開催状況について（新規事業所の場合は令和8年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	2026年	5月	18日	今後はしんわ松戸との連携だけでなく、外部のネットワークを構築し、福祉・医療・行政などの様々な分野の方の参加ができると良いと思います。 医療職については訪問している医師や看護師、訪問看護ステーションなどの方の招聘についてご検討ください。 地域連携推進会議の記録を、今後どのように地域課題の解決や支援の改善に反映させていくか、具体的な方法を明確にしてください。 地域住民や関係者からの意見を単に聞くだけでなく、運営方針の修正にどのようにつなげていくか、可視化することを要望いたします。 実施日について検討をお願いいたします。
		参加委員数	3人			
		開催方法	対面 オンライン・その他			
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	利用者・利用者家族・地域関係者等			
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について				
		運営方針、オープンしてからの経過等				
		地域連携推進会議における要望・助言等について （会議において推進員等からの要望や助言を記載）				
		地域連携推進員の訪問について （施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）				
		会議実施時に見学時間を設ける				
		議事録の公表方法について				
ファイリングし、施設見学者、希望者にご覧いただけるよう保管予定						

2/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	設立目的・運営方針	【設立目的】（別紙でも可） 別紙事業計画参照	
		【運営方針】（別紙でも可） 別紙事業計画参照	
5	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	必要な支援について対応をお願いいたします。
		散歩・自立課題・ドライブ、入浴介助、通院同行等	
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	
		「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 8人	
		（外部の日中活動サービス種類及び人数） 生活介護：8名	
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。	
		非該当	

3/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	散歩・ドライブ・自立課題など、日中活動・余暇支援の内容は非常に適切です。 今後は、利用者の声を反映するため、個々の利用者の希望を抽出する手法（非言語的な方法を含む）について、職員間で共有していただくようお願いいたします。
		散歩やドライブ、自立課題等	
		体験的利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数） 4人	
		（体験利用の事例） オープンよりほぼ体験からの入居となっており、すぐの入居とならなかった人数は4名	
7	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について	
		事業所名	
		サービス種別	
		利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況	
【GHからの利用人数】 人			
【通所の頻度】 1週間に 日程度			
・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み			

4/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	地域の行事参加への意欲について高く評価いたします。 具体的に「いつ」「どのような行事に」「誰が」参加するか、年間を通じた地域交流計画を策定していただくことを推奨いたします。
		今後地域の行事等に積極的に参加したい見学などは随時希望があれば行っている	
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数	
		（受け入れの事例）	
9	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数： 3 人 うち市の事業による受け入れ人数： 0 人	現在は緊急の相談実績はないとのことですが、短期入所の定員やグループホームの空き状況を勘案し、地域からの緊急要請があった場合に「受け入れるか、断るか」の判断プロセスを、運営会議等で事前に想定していただくよう要望いたします。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
		緊急の相談は無し	
10	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	
		常時必要最低限の人数は確保されており、相談及び生活支援を行っている	
11	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	（具体的な連携状況の事例）	今後、訪問医療や歯科等との連携が必要になると考えられますので、利用者の変化等に合わせた連携をお願いいたします。
		常時各相談支援員と連携を図るよう務めており、利用者に対するより良い支援を目指している	

5/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
12	従業者の資格取得状況や実務経験について （必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）	・支援スキルの高い管理者を置いているか。	県外の有名な施設を見学されており、意識の高さを感じました。個別の支援への反映に期待しております。
		・障害福祉に関わる業務18年 ・介護職員初任者研修修了 ・強度行動障害支援者実務研修修了 ・県外の施設も積極的に見学等行っている 【秩父学園・札幌はるにれの里・のぞみの園・青森ゆきわり会等】	
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。	
		管理者と同じ	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。	
13	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。	外部の先進的な施設への見学や研修への参加は、非常に高いモチベーションを感じました。 研修で得た学びを個人の経験だけに留めず、職員全体に還元するため、事業所内での「事例検討会」や「スーパービジョン」を行うなど、支援の質を向上し、標準化させる体制を構築してください。
		別紙	
		・資格取得への取り組みはあるか。	
		法人内の資格取得支援制度 ※別紙参照	

6/7

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 (受け入れにおける具体的な判断基準について) 明確な基準は設けておらず、今いる入居者との相性、度が過ぎてしまう他害、破壊行為がなければ前向きに受け入れを検討しています ・利用希望があった時に受け入れを断った例について (相談を受けてお断りした例やその後の対応について) 1名体験中に破壊行為激しく、修繕に多額の費用が継続して発生する可能性が大きい為お断りさせていただく	現在の判断基準（入居者との相性や他害・破壊行為の程度）に一定の妥当性を認めますが、基準をより客観化するとともに、お断りする際に相談支援専門員と連携して他のサービスを紹介する等の代替案を提示できるよう、手続きの明文化を検討してください。
15	災害等における体制整備及び防災への備えについて ※業務継続計画（災害・感染症）等を添付すること	(避難訓練の実施状況、水や食糧の備蓄等について) ・日勤・夜勤それぞれ設定し避難訓練を実施 ・利用者、職員数分の水・食料を3日分備蓄 ・BCP作成(別紙)	避難訓練の実施は重要な取り組みであると考えます。日勤・夜勤それぞれの訓練結果を検証し、夜間帯の少ない人員配置での安全確保や、強度行動障害がある方特有の避難の難しさなど、具体的な課題を抽出していただき、マニュアルを継続して更新していただくようお願いいたします。
16	協議会からの要望、助言への対応 (2回目以降記入)		
17	その他	・グループホームにおける食事提供方法・金額等について ・朝食330円、昼食550円、夕食560円 ・食材会社より決められたメニューに沿って厨房職員が作り、利用者に合った食事形態や温度で提供 ・施設のバリアフリー等、独自の工夫点について 段差や転倒につながる物は無く、引き戸にし、スムーズに移動できるようになっている	利用者に合った食形態で提供していただいている点を評価いたします。 強度行動障害の方を受け入れをされており、大変ありがたく思います。2階の階段について、飛び出しを防止するため、二重扉等の工夫が必要であると感じました。